



Title	講演者紹介
Citation	2-2
Issue Date	2019-03-31
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/74605
Type	other
Note	公開シンポジウム「『LGBT』はどうつながってきたのか?」. 2018年10月8日. 北海道大学文系共同講義棟 (軍艦講堂) 2階8番教室, 札幌市.
File Information	LGBT2018-2_intro.pdf



[Instructions for use](#)

「LGBT」はどうつながってきたのか？

日 時：2018年10月8日(月・祝) 13:30-17:00

場 所：北海道大学 文系共同講義棟 8番教室

本シンポジウムは、「LGBT」のつながりの歴史を振り返った上で、今後の展望を議論することを目指すものです。ここで言う「つながり」とは、セクシュアル・マイノリティの権利運動を当然視野に収めながらも、それにとどまらない多様なつながりを含み込むものとして捉えています。そうした「つながり」(と分断)はどのような変遷を辿ってきたのでしょうか、その背後には何がはたらいてきたのでしょうか。各分野の活動や研究をリードしてきた方々の講演を出発点として、率直な意見交換をする場にしたいと考えています。

講演者紹介

鈴木 賢(すすき けん)

明治大学法学部教授、北海道大学名誉教授。研究分野は、中国法、台湾法、アジア法、比較法。研究テーマは、華人社会における民主化と法、非西欧社会における法的世界の成立、多元的な家族と法の対応、台湾における同性婚法制化など。主要著書に『現代中国法入門』第7版(共著、有斐閣)、論文多数。札幌での「レインボーマーチ札幌」に開始当初から関わり、札幌市パートナーシップ宣誓制度施行でも中心的役割を果たす。

清水晶子(しみず あきこ)

東京大学大学院総合文化研究科教授。専門はフェミニズム/クィア理論で、広くいえば身体という経験をめぐる文化政治が研究対象。著書に *Lying Bodies: Survival and Subversion in the Field of Vision* (Peter Lang)、共著に『愛の技法——クィア・リーディングとは何か』(中央大学出版会)など。雑誌『現代思想』『世界』のLGBT関係特集等への寄稿多数。

石田 仁(いしだ ひとし)

博士(社会学)。現在、明治学院大学社会学部附属研究所研究員、成蹊大学他非常勤講師。研究テーマは、日本の男性同性愛の戦後史。『性欲の研究——東京のエロ地理編』(平凡社)にハッテン場の歴史論文(「いわゆる淫乱旅館について」)を執筆。著書に『はじめて学ぶLGBT——基礎からトレンドまで』(ナツメ社)、共著に『図解雑学ジェンダー』(ナツメ社)、『セクシュアリティの戦後史』(京都大学学術出版会)、『セクシュアリティと法』(法律文化社)など。

企画・司会

近藤智彦(北海道大学大学院文学研究科准教授、同応用倫理・応用哲学研究教育センター事務局長)
斉藤巧弥(さっぼろレインボープライド実行委員、北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院博士
後期課程)

満島てる子(さっぼろレインボープライド実行委員、7丁目のパウダールーム店長)